

NEWSLETTER No.110 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ**
The Society for Research in Asiatic Music September 30, 2020

一般社団法人
東洋音楽学会 **会報** 第**110**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: <http://tog.a.la9.jp>

目次

第9回定時社員総会のお知らせ……………1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ……………4
総会への出席と「書面議決書」または 「委任状」提出のお願い……………2	東日本支部からのお知らせ……………5
第71回大会のご案内……………2	沖縄支部からのお知らせ……………5
メールアドレス登録へのご協力のごお願い……………3	名簿(2019年7月現在)記載の役員の追加について……………6
第38回田邊尚雄賞アンケートのお願い……………3	会員異動……………6
臨時理事会議決事項のお知らせ……………3	図書・資料等の受贈……………7
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせなど……………3	新刊書籍……………7
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ……………4	新発売視聴覚資料……………9
	編集後記……………9

第9回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位
一般社団法人東洋音楽学会 会長 植村幸生

第9回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第9回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2020年11月7日(土)17時10分～18時10分

場所 ビデオ会議システムを使用

※ミーティングID等は追って通知しますので、「大会出欠回答」時にメールアドレスをお知らせください。

審議事項

第1号議案 役員選任の件

第2号議案 令和元年(2019年)度事業報告の件

第3号議案 令和元年(2019年)2019年度収支決算の件

第4号議案 令和2年(2020年)8月31日現在貸借対照表および正味財産増減計算書の件

第5号議案 令和2年(2020年)8月31日現在会員異動状況の件

第6号議案 その他

報告事項

- ・2020年度事業計画の件
- ・2020年度収支予算の件
- ・その他

*総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会への出席と『書面議決書』または『委任状』提出のお願い」をお読みください。

*上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員のみならず、総会の成立には正会員の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。今回は大会が遠隔(オンライン)開催となるため、ビデオ会議システムを使用した総会となります。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月中旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10月下旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決権を行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。電子メールの配信先は、「大会出欠回答フォーム」または「大会出欠回答返信ハガキ」に記載されたメールアドレスです。

インターネットを使わない正会員の方で、書面議決書の提出を希望される方は、学会事務所にご相談ください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名とご自身の氏名を記入し押印してください。代理人は総会に出席する正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

総会欠席の場合には「書面議決書」か「委任状」のいずれかを提出ください。総会成立のためにご協力くださるようお願いいたします。

第71回大会のご案内

すでに学会ウェブサイトでご案内しましたように、東洋音楽学会第71回大会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、ウェブサイトとビデオ会議システムを利用してオンラインで開催します。すでにお知らせした日程や内容の一部を変更し、例年とは異なる形



で開催することになります。オンラインでのメリットも提供できるよう運営いたしますので、多くの会員のご参加をお待ちしております。参加方法など詳細は、「大会案内」(<http://bit.ly/togtaikai>)に掲載するマニュアルや最新情報などをご覧ください。

公開講演会(11月7日(土)または数日内に公開予定)では、「社会とつながる音楽・芸能—その伝統と創造—」をテーマとして、シンポジウムと公開演奏会を行います。

シンポジウムでは、社会とつながる音楽・芸能の「伝統」と「創造」のあり方を、4名のパネリストが議論します。インドネシアと韓国の事例から、現代社会における伝統のあり方を検討するとともに、アートマネージメントの視点から日本の民俗芸能の課題を検討し、大学における「創造」についての新たな試みを、開催校大学院に開講された「多文化音楽研究領域」担当者が報告します。

公開演奏会では、「伝統」と「創造」のあり方を、演奏をとおして紹介します。オーケストラ作品の箏のための編作、アジアの伝統音楽をバックグラウンドに持つ学生たちの創造の試み、ジャワガムランとヴァイオリン、チェロを用いた作曲などを舞台上げ、大学が伝統をふまえた創造の場となることを紹介します。

研究発表大会(研究発表のオンライン公開は11月1日、質疑応答は11月8日オンラインで実施予定)では、個人と共同合わせて17件の発表を行います。研究内容も多様化し、最新の研究成果に基づく大変充実した議論が期待されます。

◎出欠の回答

オンライン大会への参加には、事前登録が必要です。本学会ウェブサイトの「大会案内」(<http://bit.ly/togtaikai>)に掲載する「大会出欠回答」フォームを利用して、10月29日(木)24時までに出欠を回答してください。第9回定時社員総会(11月7日オンライン開催)に、やむなく欠席し委任状を提出する場合は、返信ハガキに記名捺印の上、10月16日(金)必着でご返送ください。

また出欠は、同封の返信ハガキでも受け付けます。返信ハガキの裏面の各欄にもれなくご記入の上、10月16日(金)必着でご返送ください。ログイン情報などをお知らせするため、正確な電子メールアドレスが必要です。大会にご欠席の場合も、正会員は定時社員総会の議決権に関する事項を返信ハガキの表面下欄に記入の上、必ずご返送ください。

◎大会参加費

今大会では、大会参加費の払込用紙はお送りしません。10月29日(木)までに、現金またはネットバンキング、銀行振込で、以下の口座へご入金ください。また、「大会案内」から

PayPal も利用できます。この日までに入金された方のみ、オンライン大会へのログイン情報をお送りします。

振込先：ゆうちょ銀行

口座名義 社) 東洋音楽学会 シ) トヨウオカガクカイ

(ゆうちょ銀行から) 記号 10150 番号 93437151

(他金融機関から) 店名〇一八 (ゼロイチハチ) 店番 018

普通預金 口座番号 9343715

参加費 正会員 3,000 円

正会員のうち大学院生*と学生会員 1,500 円

非会員 (第2日のみ) 1,500 円

*「大学院生」は修士課程・博士課程・研究生在籍者

*オンライン大会には、Web カメラとマイクのついたパソコン、タブレット、スマートフォンからご参加いただけます。

*オンラインで参加できない方は、返信ハガキの余白にその旨をお書き添えてください。

*ここに掲載する情報は、2020年8月25日時点のものです。大会の最新情報、オンライン会議システム (Zoom)、研究発表の視聴システム (YouTube) については、学会ウェブサイトの「大会案内」を随時ご確認ください。

メールアドレス登録へのご協力をお願い

全てがオンライン化・脱郵送化に急速に向かっている現代の一般的状況と、学会の経済状況等をかんがみ、本学会も全てのご連絡・ご案内を郵送のみに頼っている現状を少しずつ改善していきたいと考えております。

第1弾として、前号にて、皆さまのアンケート結果を踏まえ、会報等の郵送廃止に賛同される方については移行手続きを開始する旨、ご案内させていただきました。この度、第2弾として、より細やかでスピーディーなご案内のメール配信に向けての試行を開始したいと思います。そのためには、皆さまの最新のメールアドレスの収集が急務です。現在、メールアドレスを事務局にお届けいただいている方も、名簿情報の中に掲載されている方もありますが、既に使用されていない等のため届かない方が多いのが現状です。

近く学会 web サイトに会員の皆さまのメールアドレス登録用の特設ページを設けますので、既にお届けの方もお届けでない方も、学会からの案内を受信するための最新のメールアドレスをお知らせいただけますよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第38回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第38回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2020年1月1日～12月31日の発行物

受付期間：随時。締切は2021年2月上旬(予定)。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えていただいても構いません。

送付先：東洋音楽学会 第38回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3

三春ビル 307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

(*ご連絡の受け取り確認などは遅れる可能性もあります。)

選考委員：小西潤子、伏木香織、大内典、塚原康子、三浦裕子

臨時理事会議決事項のお知らせ

2020年8月13日(木)から20日(木)にかけて、メーリングリストを利用した電子メール会議の形で臨時理事会が開催されました。議題は「RILMにおける『東洋音楽研究』のデジタル公開について」でした。2020年7月8日にRILM (Répertoire International de Littérature Musicale 国際音楽文献目録委員会)より学会事務局宛に、機関誌『東洋音楽研究』のデジタル公開勧誘のメールが届き、2021年7月から公開の契約を結ぶ場合には8月中旬に回答を行う必要があったため、臨時理事会を開催して検討を行いました。審議の結果、2021年7月からの公開の契約は行わないこととなりました。日本国内でのデジタル公開を先に進め、RILMとの契約についても継続的に理事会で審議することとなりました。

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせなど

1. 会費納入のお願い

2020年9月から新しい年度(2020年度)が始まりました。

会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。

正会員：8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6,000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九(ゼロイチキュー)店(019)

[当座] 0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル(PayPal)によるオンライン決済で会費が納入できるようになりました。学会ウェブサイトのトップページ(<http://tog.a.la9.jp/>)の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます(アカウント開設費無料)。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下ようになります。

正会員：8,350円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6,280円

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生(博士課程・修士課程)・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。

学会のホームページ(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち8月31日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご

注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第86号(2021年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の投稿規定および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は機関紙編集委員会で改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度の守られない投稿がしばしば見受けられます。ご注意ください。

送付先：〒110-0005

東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号

東洋音楽学会事務局内 機関誌編集委員会

Tel：03-3832-5152 (Fax 兼)

なお封筒の表に、「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送してください。

ただし、書留郵便にはしないでください。

直接持参、メール添付は受け付けておりません。

締め切り：2020年12月7日(月) 必着

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

1. 第46回 ICTM 世界大会のお知らせ

日時：2021年7月22日～28日

開催地：Institute of Ethnomusicology - Center for Studies in Music and Dance, および NOVA School of Social Sciences and Humanities, New University of Lisbon (NOVA-FCSH) (ポルトガル、リスボン)

*2020年8月現在、開催方法の変更等の通知はありません

が、新型コロナウイルス感染の状況により、今後変更される可能性があります。

テーマ

1. Ecomusicologies and Ecochoreologies: Sound, Movement, Environment
2. Dance, Music, and Human Rights: Coexistence and Inequalities in the Contemporary World
3. Approaches to archival practices
4. Connected Communities: Ocean Trajectories and Land Routes
5. Music and Dance Cosmopolitanisms
6. Music and Dance Industries
7. New Research on Other Topics

各テーマや発表募集についての詳細は、ICTMホームページ (<http://www.ictmusic.org/>) の “Events - Next World Conference (July 2021)” のリンク (<http://ictmusic.org/ictm2021>) からご覧になれます。発表申し込みは同ページ内の以下のリンクより行うことができます。

<http://www.ictmusic.org/ictm2021/submit>

発表申込の締切：2020年9月30日

2. Yearbook for Traditional Music バックナンバーのオンライン・アクセスについて

ICTMの機関誌、Yearbook for Traditional Musicは2019年51号よりケンブリッジ大学出版から出版されるようになりました。それに伴いICTM会員の特典として、同誌のバックナンバー(1981年～現在)、および同誌の前身であるYearbook of the International Folk Music Council (1969-1980) と the Journal of the International Folk Music Council (1949-1968) のバックナンバーがオンライン上で無料閲覧できるようになりました。

閲覧方法は、以下の通りです。

- ①ICTMのウェブサイト (<http://ictmusic.org/>) を開き、ユーザーネームとパスワードを入力してログインする。
- ②左側に出てくる「Member Service」のメニューから「Your Account」を選びクリックする。
- ③「Benefits for members in good standing」の一覧から「Access the Yearbook for Traditional Music at Cambridge Core」を選んでクリックする。
- ④Yearbook for Traditional Musicのトップページが開き、検

索ウィンドウが現れる。

- ⑤検索ウィンドウでキーワードや著者名で論文検索ができる他、その下にあるメニューから、最新号は「latest issue」、その他のバックナンバーは「all issues」をクリックして閲覧が可能です。
- ⑥記事の一覧がでてきたら読みたい論文にチェックを入れ、左側のメニューの「Actions for selected content」からPDFダウンロード、KindleやGoogle Driveへの転送などが可能です。

会員の特典として、ぜひご利用ください

(ICTM 担当委員 早稲田みな子)

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(2月例会)について

東日本支部では、2021年2月6日の定例研究会での研究発表を募集しています。発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を11月20日までに、東日本支部事務局までお申し込み下さい(tog.higashi@gmail.com あてメール添付)。ウイルス流行の状況次第では、発表月の調整をお願いする可能性がある旨、予めご了承ください。

なお、発表希望をご提出後1週間経過しても事務局からの連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇会員の声 投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

E-mail : tog.higashi@gmail.com

沖縄支部からのお知らせ

◇定例研究会について

これからの開催については、

第75回定例研究会 2021年2月

第76回定例研究会 2021年6月

を予定しています。発表希望者を随時受け付けております。
また、他支部会員の発表も歓迎致します。発表を希望される
場合には、開催予定の4月前までをめぐり、下記の沖縄支部
事務局までご連絡ください。

沖縄支部事務局：

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

沖縄県立芸術大学音楽学部

東洋音楽学会沖縄支部事務局 宛

電話・FAX: 098-882-5016

電子メール: okinawashibu.toyo@gmail.com

定例研究会の詳しい内容は、決まり次第、学会ホームページに
掲載します。また、学会員以外の方々も聴講可能ですので、奮
ってご参加ください。

『沖縄支部通信 No.42』では、第74回定例研究会(オンライン
座談会)のご報告を掲載しています。沖縄支部ホームページより
ダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

名簿(2019年7月現在)記載の役員の追加 について

『一般社団法人東洋音楽学会会員名簿(2019年7月現在)』
の2ページに掲載されている「東洋音楽学会2018~2019年
度役員等一覧(2019年7月現在)」に名前の記載漏れがあり
ました。不備がありましたことを、お詫び申し上げます。参
事[本部]に「安原道子(広報)」「横山洸(広報)」を加え
ていただきたく存じます。なお、この情報は2019年7月現
在の情報です。役員改選に伴う新年度の役員一覧については、
会報111号(2021年1月発行)でお知らせする予定です。

会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2020年5月~8月、更新箇所は下線部)

個人情報のため削除

個人情報のため削除

個人情報のため削除

- ◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはE-mail等でも結構です)
- ◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)
- ◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2020年5月～8月、到着順)

『ベトナムの大地にゴングが響く』 柳沢英輔 灯光舎
 『沖縄芸能のダイナミズム——創造・表象・越境』 久万田晋・三島わかみ編 七月社
 『楽道』5,6,7,8月号 (公財)正派邦楽会
 『一音成佛』第49号 虚無僧研究会

『能楽資料センター紀要』No.31 武蔵野大学能楽資料センター
 『民俗芸能研究』第68号 民俗芸能学会
 『雅楽だより』第62号 雅楽協議会
 『楽器コレクション管理資料集3 活動報告編』2019年度版 国立音楽大学楽器学資料館
 『芸術資源研究センター紀要 COMPOST』vol.01 京都市立芸術大学芸術資源研究センター
 『東方學會報』No.118 (一財)東方学会
 『常磐津節の伝承資料に関する調査報告書2019年度「都の錦」——「都の錦・老の戯言」その一』 竹内有一編著 常磐津節保存会
 『グルジア民謡概説—謡(うた)に映る人と文化』 久岡加枝 スタイルノート

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)、価格(税込み)

『移動するメディアとプロパガンダ』 西村正男(編)、星野幸代(編)、勉強出版、3,080円
 『移民の世界史』 ロビン・コーエン(著)、小巻靖子(訳)、東京書籍、2,860円
 『ヴァイオリン演奏のための身体と音楽との調和』 志村寿一、せきれい社、2,750円
 『ヴィタリ——人生って不思議なものですね「日本のうた」に魅了されたロシア人歌手』 戸ノ下達也(著)、ヴィタリ・ユシュマノフ(著)、ハンナ、2,420円
 『歌と身体メカニズム——自然で美しい声を求めて』 石野健二、アルテスパブリッシング、2,200円
 『演劇と音楽』 森佳子、森話社、3,960円
 『演劇とメディアの20世紀(近代日本演劇の記憶と文化)』 神山彰、森話社、5,060円
 『近江の名曲淡海節——最後の柀の音から始まる物語』 今井信、サンライズ出版、2,200円
 『沖縄芸能のダイナミズム——創造・表象・越境』 久万田晋、七月社、3,080円
 『お能健康法 すり足と呼吸で身体がよみがえる!』 井上和幸、徳間書店、1,870円
 『音楽史に刻まれたロック——英国プログレッシブ・ロックと反体制文化』 エドワード・マッカラン(著)、水声社、6,600円
 『音楽文化戦時・戦後——ナショナリズムとデモクラシーの学校教育』 河道口朗、社会評論社、2,750円

- 『カオス・領土・芸術——ドゥルーズと大地のフレーミング』
エリザベス・グロス(著)、檜垣立哉(監)、小倉拓也(訳)、
佐古仁志(訳)、瀧本裕美子(訳)、法政大学出版局、2,860円
- 『神さまたちの季節』 芳賀日出男、KADOKAWA、1,232円
- 『賀茂信仰の歴史と文化』 橋本政宣、思文閣出版、8,580円
- 『勘三郎の死——劇場群像と舞台回想』
中村哲郎、中央公論新社、3,300円
- 『消えた映画館を探して おかやま、昭和の記憶』
鷹取洋二、吉備人出版、1,980円
- 『キッチュの心理学 新装版』
アブラアム・モル(著)、万沢正美(訳)、
法政大学出版局、4,180円
- 『「教訓抄」に語られる中国音楽説話の研究』
王媛、三元社、3,300円
- 『教養として学んでおきたい能・狂言』
葛西聖司、マイナビ出版、957円
- 『近世城下町の付祭りの変化——伊賀国上野と下野国鳥山を
事例に』 渡辺康代、海青社、3,960円
- 『近世の語彙——身分階層の時代』
飛田良文、佐藤武義、小野正弘、平林香織・他、
朝倉書店、4,070円
- 『グルーヴ! 「心地よい」演奏の秘密』
堀米ゆず子、春秋社、2,970円
- 『グルジア民謡概説——謡に映る人と文化』
久岡加枝(著)、スタイルノート、3,520円
- 『現代アフリカ文化の今——15の視点から、その現在地を探
る』 ウスビ・サコ(編著)、清水貴夫(編著)、
青幻舎、2,750円
- 『好古趣味の歴史 江戸東京からたどる』
法政大学江戸東京研究センター(編)、文学通信、3,080円
- 『厚生音楽資料全集 戦時期の音楽文化 復刻 第1巻』
戸ノ下達也(編)、金沢文圃閣、16,500円
- 『厚生音楽資料全集 戦時期の音楽文化 復刻 第6巻 附録資
料編1』 戸ノ下達也(編)、金沢文圃閣、9,900円
- 『古浄瑠璃・説経研究 近世初期芸能事情 上巻 街道の語り物』
阪口弘之、和泉書院、13,200円
- 『古浄瑠璃・説経研究 近世初期芸能事情 下巻 近世都市芝居
事情』 阪口弘之、和泉書院、14,300円
- 『コンテンツ産業論——文化創造の経済・法・マネジメント
(第2版)』 河島伸子、ミネルヴァ書房、3,850円
- 『ジェンダーと身体——解放への道のり』
川本玲子(編著)、小鳥遊書房、2,970円
- 『老舗弦楽器専門店の工房から 聞けそうで、聞けないヴァイ
オリン技術の話』 堀西基、せきれい社、2,200円
- 『宗教・教育・芸能・地域文化(郷土史大系 地域の視点から
みるテーマ別日本史6)』
阿部猛(監)、朝倉書店、16,500円
- 『シュタイナー教育 100年——80カ国の人々を魅了する教
育の宝庫』 広瀬俊雄(編)、昭和堂、2,750円
- 『シンボルの哲学——理性、祭礼、芸術のシンボル試論』
S.K.ランガー(著)、塚本明子(訳)、岩波書店、1,584円
- 『図解入門 音楽の仕組みと科学』
岩宮眞一郎、秀和システム、1,870円
- 『世阿弥の稽古哲学(増補新装版)』
西平直、東京大学出版会、4,400円
- 『西洋音楽理論にみるラモーの軌跡——教・科学・音楽をめ
ぐる栄光と挫折』 伊藤友計、音楽之友社、2,860円
- 『即興音楽療法の諸理論 下』
ケネス・E. ブルーシア(著)、林庸二(監訳)・他、
人間と歴史社、4,400円
- 『ダーウィン以後の美学——芸術の起源と機能の複合性』
ヴィンフリート・メニングハウス(著)、伊藤秀一(訳)、
法政大学出版局、3,960円
- 『チャールズ・バーニー音楽見聞録 ドイツ編』
チャールズ・バーニー(著)、小宮正安(訳)、
春秋社、7,700円
- 『抽象と具体——創造行為を描き出すこと』
梅正行、三月社、2,420円
- 『治療は文化である——治癒と臨床の民族誌』
森岡正芳(編)、牧野英一郎・他、金剛出版、2,640円
- 『鶴屋南北』 古井戸秀夫、吉川弘文館、2,420円
- 『弟子から見たショパン そのピアノ教育法と演奏美学』
ジャン=ジャック・エーゲルディンゲル(著)、米谷治郎
(訳)、中島弘二(訳)、音楽之友社、6,380円
- 『伝統芸能ことば蔵一〇〇』 村尚也、檜書店、1,980円
- 『《ドイツ・レクイエム》への道——ブラームスと神の声・人
の声』 西原稔、音楽之友社、4,290円
- 『東北の芸術家たち——人生・仕事を語る』
河北新報社編集局(編)、河北新報出版センター、1,650円
- 『日常非常、迷宮の時代 1970-1995(オペラ戦後文化論2)』
小林康夫、未来社、3,080円
- 『日本新劇全史 第2巻 昭和20年~昭和40年』
大笹吉雄、白水社、33,000円
- 『日本文化研究における歴史と文学——双方の視点による再
検討』 柳沢昌紀(編著)、汲古書院、4,400円
- 『バード チャーリー・パーカーの人生と音楽』
チャック・ヘディックス、
シンコーミュージック・エンタテイメント、2,700円
- 『白居易研究年報(最終号)——特集 歌舞音曲 附 日本国
内白居易研究文献解題目録』

白居易研究会(編)、勉誠出版、9,900円
『人の心を動かすことができなければ、芸術ではない』
高階秀爾、京都府立文化芸術会館(編)、
ミネルヴァ書房、4,180円
『美とリベラルアーツ——美意識を高め、創造性を育む』
阿部博人、PHP研究所、1,430円
『豊後節系浄瑠璃集(伝承文学注釈叢書)』
安田文吉、三弥井書店、8,250円
『文楽ナビ』 渡辺保、マガジンハウス、3,300円
『ベートーヴェンとバロック音楽——「楽聖」は先人から何を学んだか』 越懸澤麻衣、音楽之友社、2,530円
『ベートーヴェンの真実』 谷克二、KADOKAWA、1,870円
『ベトナムの大地にゴングが響く』
柳沢英輔、灯光舎、2,970円
『マサチューセッツ工科大学 音楽の授業 世界最高峰の「創造する力」の伸ばし方』
菅野恵理子(著)、あさ出版、1,980円
『マニフェスト・デスティニーの時空間 環大陸的視座から見るアメリカの変容』
舌津智之、下河辺美知子・他、小鳥遊書房、3,300円
『三木竹二——兄鷗外と明治の歌舞伎と』
木村妙子、水声社、4,400円
『洋楽の衝撃——黒船から終戦まで』
細川周平、岩波書店、14,300円
『ようこそ伝統芸能の世界——伝承者に聞く技と心』
森田ゆい、薫風社、2,200円
『ヨーロッパ音楽の歴史』 金澤正剛、音楽之友社、2,970円
『陸軍分列行進曲』とふたつの「君が代」出陣学徒は敵性音楽で戦場に送られた』 大山真人、平凡社、924円
『ロレンソ了齋と諸田賢順(高田重孝著作集第4巻)』
高田重孝、かんよう出版、3,300円
『わたしたちに音楽がある理由——音楽性の学際的探究』
今川恭子(編著)、音楽之友社、3,850円

新発売視聴覚資料

●CD

『阿波百景』 久保田麻琴、COCJ-41218、3,180円
『オーケストラと和楽器による“日本の旋律”』
KICC-1541、1,980円
『obi』 小山豊、MHCL-2861、2,500円
『箏・三弦 古典/現代名曲集(29)』
中島靖子(監)、中島一子・他、VZCG-832、3,300円
『響 鯉沼廣行 横笛の世界』

鯉沼廣行、ALCD-7256、2,750円
『ふるりの民踊(第60集)』 KICH-320、3,300円
『やすらぎの琴〜心ほぐして生きかえる時間〜』
島津秀雄、COCJ-4116、2,420円
『山本邦山作品集 III 五色桜』
山本邦山、VZCG-831、3,300円
『雪墨』 藤本昭子、佐藤允彦、VZCG-828、3,300円
『鷺見國仁 吟詠の世界 ~吟詠 歌謡吟詠~』
鷺見國仁、COCJ-41130、2,000円

●映像

『シネマ歌舞伎「東海道中膝栗毛」「東海道中膝栗毛 歌舞伎座捕物帖」』 SHBR-0611、9,680円
『ふるりの民踊(第60集)』 KIBM-5007、7,590円

編集後記

前号に引き続き、この110号も、新型コロナウイルス感染拡大という不安のなかでのお届けとなりました。

すでに定例研究会についてはオンラインによる開催が実施されておりますが、大会についてもオンライン開催となることになりました。会報誌面および同封の資料をご覧ください。新しい試みによる開催に、ふるってご参加いただきたく存じます。また、定時社員総会についても、オンラインで行うことになりました。やむを得ずご欠席の正会員の皆様には、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いいたします。

会報についても、Web化に向けて動き始めています。アドレスをお知らせいただくなど、皆様のご協力を得ながら、また、会員の皆様お一人お一人のご希望もうかがいながら、準備を進めて参ります。本誌「メールアドレス登録へのご協力のお願い」をお読みいただき、ご協力をお願いいたします。

会報および学会に対するご意見ご要望など、どうぞ、お寄せください。

野川美穂子

会報編集委員会

理事：久万田晋、野川美穂子

参事：今泉佳奈、木岡史明、土田まどか、中川優子、横山洗

